

福島原発事故後の親子の生活と健康に関する調査

福島子ども健康プロジェクト

この度は、文部科学省科学研究費の助成を受け、福島市、郡山市、二本松市、伊達市、桑折町、国見町、大玉村、三春町、本宮市の中通り 9 市町村の **3 歳児をもつお母様（不在の場合は、保護者）を対象に**、福島原発事故後の親子の生活と健康を把握する目的でアンケート調査を行うこととなりました。この調査の結果を踏まえて、小さなお子さんを持つお母様たちが、子育てに関する不安や生活上の問題を自由に語り合う場を設け、子どもたちが健やかに成長する環境を作っていきたいと考えています。本調査票に記載された個人情報には、統計的に分析された上で公表するため、個人が特定されることはありません。調査票がお手元に届きましたら、恐れ入りますが、**おおむね 2 週間を目安にご返送くださるようお願いいたします。**

***本調査は以下の市町村・新聞社・団体から後援を得ています。**

福島市、二本松市、伊達市、桑折町、国見町、大玉村、三春町、本宮市
福島民友新聞社、福島民報社、コープふくしま

私たちはこのアンケート調査に協力します。

お子様のお名前（ふりがな）： _____（ _____ ）

お母様（不在の場合は、保護者）のお名前： _____（お子様との続柄 _____）

今日（このアンケートに答える日）の日付： 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

お子様の生年月日： 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 性別： 男の子 ・ 女の子

ご住所： 〒 _____

電話番号（自宅、携帯）： _____（ _____ ） _____

はじめに、お子さんの生活状況と健康状態についてお聞きします

問1 このアンケートは、生年月日が2008年(平成20年)4月2日から2009年(平成21年)4月1日までのお子さんを対象にしています。対象になっているお子さんの身長・体重等を教えてください(母子健康手帳をご参照ください)。

	身長	体重	出産週数
出生時	() cm	() g	() 週
3歳児健診時 (未受診の場合は現在)	() cm	() kg	

問2 そのお子さんは何人きょうだいの何番目ですか。

() 人きょうだいの () 番目

2-1 長子と末子の年齢を教えてください。お子さんがお一人の場合は、空欄で結構です。

長子 () 歳、 末子 () 歳

問3 そのお子さんのここ半年くらいの間の起床・就寝時間を教えてください。

起床：おおよそ 午前 () 時 () 分

就寝：おおよそ 午後 () 時 () 分

問4 そのお子さんは、保育園・幼稚園・託児所などにいつ頃から、週何日、通っていますか。

平成 () 年 () 月から通っている

平均して、週 () 日、通っている

「まだ通っていない」場合は、こちらに○をつけてください ()

問5 そのお子さんは、一日に平均して何時間くらい屋外で遊んでいますか。それぞれの時期について、あてはまるもの一つに○をつけてください(保育園などでの屋外遊び時間を含む)。

	まったく遊ばない	30分以内	1時間以内	2時間以内	2時間以上
原発事故～半年間	1	2	3	4	5
ここ半年間	1	2	3	4	5

問6 そのお子さんのここ半年くらいの間の健康状態について、あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 良い
2. まあまあ良い
3. あまり良くない
4. 良くない

問7 そのお子さんのここ半年くらいの行動についておうかがいします。それぞれの項目について、あてはまるもの一つに○をつけてください。

	あてはま ない	まあ あてはまる	あてはまる
他人の気持ちをよく気づかう	1	2	3
おちつきがなく、長い間じっとしてられない	1	2	3
頭がいたい、お腹がいたい、気持ちが悪いなどと、よくうったえる	1	2	3
他の子どもたちと、よく分け合う（おやつ・おもちゃ・鉛筆など）	1	2	3
カッとなったり、かんしゃくをおこしたりする事がよくある	1	2	3
一人でいるのが好きで、一人で遊ぶことが多い	1	2	3
素直で、だいたいは大人のいうことをよくきく	1	2	3
心配ごとが多く、いつも不安なようだ	1	2	3
誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける	1	2	3
いつもそわそわしたり、もじもじしている	1	2	3
仲の良い友だちが少なくとも一人はいる	1	2	3
よく他の子とけんかをしたり、いじめたりする	1	2	3
おちこんでしずんでいたり、涙ぐんでいたりすることがよくある	1	2	3
他の子どもたちから、だいたいは好かれているようだ	1	2	3
すぐに気が散りやすく、注意を集中できない	1	2	3
目新しい場面に直面すると不安ですがりついたり、すぐに自信をなくす	1	2	3
年下の子どもに対してやさしい	1	2	3
よく大人に対して口答えする	1	2	3
他の子から、いじめの対象にされたり、からかわれたりする	1	2	3
自分からすすんでよく他人を手伝う（親・先生・子どもたちなど）	1	2	3
よく考えてから行動することができる	1	2	3
他の人に対していじわるをする	1	2	3
他の子どもたちより、大人といる方がうまくいくようだ	1	2	3
こわがりで、すぐにおびえたりする	1	2	3
ものごとを最後までやりとげ、集中力もある	1	2	3

問8 あなたとのお子さんとのふだんの生活についておうかがいします。それぞれの項目について、もっとも近いもの一つに○をつけてください。

	ほぼ毎日	週に3~4回	週に1~2回	月に1~3回	めったにない
お子さんと一緒に遊ぶ機会 (子どもと向き合って過ごすこと)	1	2	3	4	5
お子さんと一緒に買い物に行く機会	1	2	3	4	5
お子さんに本を読み聞かせる機会	1	2	3	4	5
童謡やお子さんの好きな歌を 一緒に歌う機会	1	2	3	4	5
お子さんと公園など散歩に行く機会	1	2	3	4	5
お子さんと同じくらいの年齢の子どもを 持つ友人や親戚と訪問し合う頻度	1	2	3	4	5
お父さん(または父親代わりとなる人)の 育児に参加する頻度	1	2	3	4	5
お子さんが両親(または母親、父親の代わり となる人)と一緒に食卓を囲んで食べる機会	1	2	3	4	5

問9 そのお子さんにここ半年くらいの間に次のような症状が見られましたか。それぞれの項目について、あてはまるもの一つに○をつけてください。

	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない
頭痛	1	2	3	4
腹痛・胃痛	1	2	3	4
嘔吐・下痢	1	2	3	4
食欲不振	1	2	3	4
せきが出る	1	2	3	4
のどの痛み	1	2	3	4
皮膚のかゆみ	1	2	3	4
鼻血	1	2	3	4
発熱	1	2	3	4
風邪	1	2	3	4
疲れやすい	1	2	3	4
眠れない(夜中に目を覚ます)	1	2	3	4

9-1 ここ半年くらいの間に、上記の症状で医師の診断を受けたものはありますか。ある方は、その診断名をお書きください。

1. ない
2. ある → ()

次に、福島原発事故後の生活についてお聞きします

問10 **ご自宅の放射線量**について、**原発事故後と現在のもっとも高い線量**を教えてください。わからない場合は、「？」を記入してください。単位は μSv （マイクロシーベルト）。

	原発事故～半年間	現在
ご自宅の室内	() μSv	() μSv
ご自宅の周囲	() μSv	() μSv

問11 **原発事故直後、事故半年後、この1ヶ月間**、以下のようなことはありましたか。それぞれの項目について、**選択肢のなかからもっとも近い数字一つを記入**してください。

選択肢：1. あてはまる 2. どちらかといえばあてはまる 3. どちらかといえばあてはまらない 4. あてはまらない			
	原発事故直後	事故半年後	この1ヶ月間
地元産の食材は使わない			
洗濯物の外干しはしない			
放射線量の低いところに保養に出かけたいと思う			
できることなら避難したいと思う			
放射能の健康影響についての不安が大きい			
福島で子どもを育てることに不安を感じる			
原発事故によって親子関係が不安定になった			
放射能への対処をめぐって 夫（配偶者）との認識のずれを感じる			
放射能への対処をめぐって 両親との認識のずれを感じる			
放射能への対処をめぐって 近所や周囲の人と認識のずれを感じる			
原発事故の補償をめぐって不公平感を覚える			
原発事故後、何かと出費が増え、経済的負担を感じる			



問12 福島原発事故後、避難した経験はありますか。

1. はい → 12-1にお答えください
2. いいえ → 問13へ

12-1 (問12に1とお答えの方に) どれくらいの期間、避難しましたか。複数回、避難した場合は、合計の期間を教えてください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 1ヶ月未満 | 4. 6ヶ月以上～1年未満 |
| 2. 1ヶ月以上～3ヶ月未満 | 5. 1年以上～1年6ヶ月未満 |
| 3. 3ヶ月以上～6ヶ月未満 | 6. 1年6ヶ月以上 |

問13 福島原発事故後、あなたの住んでいる地域(地区会・町内会・自治会の範囲)で、どれくらいの方が避難していると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- | | |
|------------|----------|
| 1. ほとんどいない | 3. 2割以上 |
| 2. 1割程度 | 4. わからない |

問14 福島原発事故後、保養(日帰り、週末、長期休暇中など一定期間、放射線量の低い場所でフレッシュすること)にどれくらいの頻度で出かけていますか。それぞれの時期について、あてはまる番号一つに○をつけてください。

原発事故～半年間	1. 頻繁に出かけた	2. 何度か出かけた	3. 出かけたことがない
ここ半年間	1. 頻繁に出かけている	2. たまに出かけている	3. 出かけていない

問15 保養や避難をするかどうかを決める際に、参考にした情報源は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-------------------|---------------|---------------|
| 1. 役所、保健所、医療機関の情報 | 4. インターネットの情報 | 7. 講演会・勉強会の情報 |
| 2. テレビの情報 | 5. 雑誌の情報 | 8. 口コミ |
| 3. 新聞の情報 | 6. 本の情報 | |

15-1 保養や避難をするかどうかの行動を決定づけたものは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------|---------------------|
| 1. 自分自身の判断 | 4. 近所の人誘い |
| 2. 家族・親戚の勧め | 5. 周囲の流れ(周りがそうするから) |
| 3. 友人・知人の勧め | 6. その他() |

問16 あなたとお子さんの健康状態は、福島原発事故による放射能の影響をどの程度受けていると思いますか。それぞれの欄に、選択肢のなかからもっとも近い数字一つを記入してください。

選択肢：1. 影響がある 2. 少し影響がある 3. ほとんど影響がない 4. 影響がない				
	現在の身体の健康	現在の心の健康	将来の身体の健康	将来の心の健康
あなた				
お子さん				

お住まいの地域の環境と人間関係についてお聞きします

問17 あなたのお住まいの地域の状況について、原発事故以前と現在のそれぞれの項目について、選択肢のなかからもっとも近い数字一つを記入してください。

選択肢：1. あてはまる 2. どちらかといえばはてはまる 3. どちらかといえばあてはまらない 4. あてはまらない		
	原発事故以前	現在
私はこの地域が好きである		
この地域は自分のまちだという感じがする		
この地域に住んでいることに誇りを感じる		

問18 あなたのお住まいの地域は、放射能による汚染はどの程度深刻だとお考えですか。

1. 深刻である
2. ある程度深刻である
3. あまり深刻ではない
4. 深刻ではない

問19 原発事故後の取り組みについてどの程度、評価しますか。それぞれの項目について、あてはまるもの一つに○をつけてください。

	評価する	ある程度 評価する	あまり 評価しない	評価しない
国	1	2	3	4
福島県	1	2	3	4
お住まいの市町村	1	2	3	4
東京電力	1	2	3	4

問20 あなたは、お住まいの市町村が提供している下記の育児関連サービスを利用していますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. ファミリーサポート | 4. 子育てサークル |
| 2. 児童館・児童センター | 5. 母親クラブ |
| 3. 子育て支援センター | 6. 放課後児童クラブ |

20-1 上記の他に、市町村に取り組んでほしい育児関連サービスはありますか。

()

問21 あなたは、次にあげる団体や組織に加入していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 地区会・町内会・自治会 | 4. 宗教の団体や会 |
| 2. 趣味・娯楽・スポーツなどの団体 | 5. 親子会、PTA |
| 3. ボランティア・市民活動団体 | 6. 子育てサークル、ママ友サークルなど |

問22 あなたの生活において、何かと助けになってくれる人は何人いますか（同居家族を含む）。

（ ）人

以降の質問では、その方々のうち、思い浮かんだ順に5人までについてお聞きします。1人目の方から順に、Aさん（ ）、Bさん（ ）、Cさん（ ）、Dさん（ ）、Eさん（ ）とします。5人に満たない場合は、思い浮かぶ方々の人数分だけ、お答えください。上記の（ ）内は、その方々がどなたであるか、ご自分でわかるように、イニシャルや愛称などをご記入ください。

22-1 上で上げていただいたそれぞれの方とは、どのような間柄にあたりますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん
夫または妻	1	1	1	1	1
自分の親	2	2	2	2	2
夫または妻の親	3	3	3	3	3
子ども	4	4	4	4	4
きょうだい	5	5	5	5	5
その他の家族・親せき	6	6	6	6	6
近所の人	7	7	7	7	7
職場や仕事関係の人	8	8	8	8	8
同じ組織や団体に加入している人	9	9	9	9	9
友人	10	10	10	10	10
インターネットで知り合った人	11	11	11	11	11
その他（ ）	12	12	12	12	12

22-2 それぞれの方の性別はどちらですか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん
男性	1	1	1	1	1
女性	2	2	2	2	2

22-3 それぞれの方の年齢を、下記に記入してください。わからない場合は、おおよその年齢で結構です。

	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん
年齢	（ ）歳	（ ）歳	（ ）歳	（ ）歳	（ ）歳

22-4 それぞれの方とあなたは、どのくらいの頻度で話をしますか(電話やメールなどを含む)。
あてはまるもの一つに○をつけてください。

	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん
ほとんど毎日	1	1	1	1	1
少なくとも週1回	2	2	2	2	2
少なくとも月1回	3	3	3	3	3
年に数回	4	4	4	4	4

22-5 それぞれの方はどちらにお住まいですか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん
同居・敷地内別居	1	1	1	1	1
隣近所に	2	2	2	2	2
それ以外の市町村内に	3	3	3	3	3
県内に	4	4	4	4	4
県外に	5	5	5	5	5

22-6 それぞれの方からどのようなサポート(援助)を受けていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん
重要なことを話したり、悩みを相談したりする	1	1	1	1	1
人手がいるときに気軽に手伝いを頼める	2	2	2	2	2
共通の趣味や娯楽を持っている	3	3	3	3	3
一緒に余暇や休日を楽しむ	4	4	4	4	4
何かについて、自分を頼ってくれる	5	5	5	5	5
育児の相談にのってくれる	6	6	6	6	6
外出中に子どもの世話をしてくれる	7	7	7	7	7
まとまったお金を貸してくれる	8	8	8	8	8
放射能の影響について、話したり相談したりする	9	9	9	9	9

あなたの健康についてお聞きします

問23 ここ半年くらいの間のあなたの健康状態について、あてはまるもの一つに〇をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 良い | 3. あまり良くない |
| 2. まあまあ良い | 4. 良くない |

問24 ここ半年くらいの間に次の症状がありましたか。それぞれの項目について、あてはまるもの一つに〇をつけてください。

	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない
頭痛	1	2	3	4
腹痛・胃痛	1	2	3	4
嘔吐・下痢	1	2	3	4
食欲不振	1	2	3	4
せきやたんが出る	1	2	3	4
のどの痛み	1	2	3	4
皮膚のかゆみ	1	2	3	4
鼻血	1	2	3	4
肩こり	1	2	3	4
腰痛	1	2	3	4
手足の関節が痛む	1	2	3	4
生理の異常	1	2	3	4

24-1 ここ半年くらいの間に、上記の症状で医師の診断を受けたものはありますか。ある方は、その診断名をお書きください。

1. ない
2. ある → ()

問25 あなたはどのくらいの頻度でお酒（アルコール含有飲料）やたばこをのみますか。対象となっているお子さんの妊娠中と現在、それぞれ、あてはまる数字一つを記入してください。

選択肢：1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 月に数回以下 5. のまない		
	妊娠中	現在
お酒（アルコール含有飲料）		
たばこ		

問26 **原発事故直後、事故半年後、この1ヶ月間**、以下のようなことはありましたか。それぞれの項目について、**選択肢のなかからもっとも近い数字一つを記入**してください。

選択肢：1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. まったくない			
	原発事故直後	事故半年後	この1ヶ月間
普段と比べて食欲が減ったり、増えたりしている			
いつも疲れやすく、身体がだるい			
寝つけなかったり、途中で目が覚めたりすることが多い			
災害に関する不快な夢を見ることがある			
憂うつで気分が沈みがちである			
イライラしたり、怒りっぽくなったりする			
ささいな音や揺れに、過敏に反応してしまうことがある			
災害を思い出させるような場所や、人、話題などを避けてしまうことがある			
思い出したくないのに災害のことを思い出すことがある			
以前は楽しんでいたことが楽しめなくなった			
何かのきっかけで、災害を思い出して気持ちが動揺することがある			
災害についてはもう考えないようにしたり、忘れようと努力したりしている			

問27 **原発事故直後、事故半年後、この1ヶ月間、どれくらいの頻度**で次のことがありましたか。それぞれの項目について、**選択肢のなかからもっとも近い数字一つを記入**してください。

選択肢：1. いつも 2. たいてい 3. ときどき 4. 少しだけ 5. まったくない			
	原発事故直後	事故半年後	この1ヶ月間
神経過敏に感じた			
絶望的だと感じた			
そわそわ、落ち着かなく感じた			
気分が沈み込んで、何が起っても気が晴れないように感じた			
何をするのも骨折りだと感じた			
自分は価値のない人間だと感じた			

問36 あなたとあなたの配偶者の震災前と現在のご職業は、次のどれにあてはまりますか。それぞれについて、あてはまる番号を記入してください。

1. 管理職・・・会社・団体の役員や課長以上の管理職、議員、駅長など
2. 専門・技術職・・・弁護士、医師、看護師、保育士、教師、僧侶、税理士、研究・開発職など
3. 事務職・・・総務・企画事務、経理事務、ワープロ・オペレータ、校正など
4. 販売・営業職・・・販売員、小売店主、飲食店主、販売店主、外交員、外回りの営業など
5. サービス職・・・調理人、美容師、タクシー運転手、ウェイター、クリーニング職など
6. 生産工程・労務職・・・工場作業員、建設作業員、清掃員、トラック運転手、整備士、大工など
7. 保安職・・・警察官、消防士、警備員など
8. 農林漁業・・・農業、漁業、養畜、林業、造園師、植木職など
9. 無職

	震災前	現在
あなた		
配偶者		

36-1 震災前と現在のあなたとあなたの配偶者の雇用形態は次のどれですか。それぞれについて、あてはまる番号を記入してください。

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. フルタイム雇用者（常時雇用者） | 4. 専業主婦（主夫） |
| 2. パート・アルバイト・契約社員・派遣社員 | 5. 会社の経営者・役員 |
| 3. 自営業主、またはその家族従業者 | 6. 失業中 |

	震災前	現在
あなた		
配偶者		

問37 あなたとあなたの配偶者が最後に卒業した学校はどちらですか。それぞれについて、あてはまる番号を記入してください。

- | | |
|---------------|-----------|
| 1. 中学校 | 4. 高専・短大 |
| 2. 高校 | 5. 大学・大学院 |
| 3. 専修学校（専門課程） | |

あなた 配偶者

問38 あなた個人の分を含めて、同居している家族全体で去年1年間の収入（世帯年収）（税込み、仕送りなども含む）はどれくらいですか。

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 200万円未満 | 4. 600万円～800万円未満 |
| 2. 200万円～400万円未満 | 5. 800万円～1,200万円未満 |
| 3. 400万円～600万円未満 | 6. 1,200万円以上 |

問39 **お宅の現在の家計の状態**についてどのようにお考えですか。

1. ゆとりがある
2. どちらかといえばゆとりがある
3. ふつう
4. どちらかといえば苦しい
5. かなり苦しい

長い時間、ご協力いただき、ありがとうございました。この貴重なご意見をもとに、今後、小さなお子さんを持つお母様たちが、原発事故や子育てに関する不安を自由に語り合う場を作りたいと考えております。下記、ご自由にご意見をお書きください。

